



薬物乱用防止運動を展開

阿蘇の青少年たちを恐ろしい薬物乱用から守ろうと、阿蘇一の宮ライオンズクラブ（宮川國俊会長）が主催した「ダメ。ゼッタイ。」普及運動のチャリ配りが行われました。この活動は、薬物乱用防止指導員協議会とともに毎年行っているもので、朝早くから、一の宮中、波野中、産山中、阿蘇高校、阿蘇清峰高校の正門に立ち、登校中の生徒に薬物乱用に注意を呼びかけました。

高校卒業予定者が交通事故の危険性を学習

阿蘇地区高校卒業予定者交通安全研修会が2月8日、阿蘇自動車学校で行われ、阿蘇高校及び阿蘇清峰高校の卒業予定者約210人が参加しました。

これは、今春、高校を卒業する生徒たちに正しい交通ルールや交通マナーの知識・技能を習得させることを目的として、阿蘇地区交通安全教育推進協議会（岩下哲三会長）が毎年開催しているもので、今年で5回目。

この日、生徒たちは、阿蘇警察署交通課の署員や阿蘇自動車学校の教官らの指導のもと、車輛の衝突実験、右折対直進の交通事故実験、自転車運転中の携帯電話の使用などを見学・体験し、交通事故の危険性について学習しました。



▲衝突実験を見学する生徒たち



公民館内牧分館が初の歴史探訪を開催

阿蘇市公民館内牧分館（高宮晴夫館長）が、公民館活動の一環として第1回歴史探訪・ウォークラリーを、2月8日開催しました。公民館活動とは、小学校区の人たちが行事などを通じてふれあい、楽しみながら地域づくりをしていくもので、内牧分館は昨年9月に発足しました。最初の活動となった今回の歴史探訪には、約100人が参加。南宮原、湯浦など通称鍋つる線の史跡を、区長など地元

詳しい人たち4人がガイドとなり説明し、驚く話題の数々に参加者は大喜びでした。

高宮館長は「初めてガイドをしましたが、私自身改めて地元で埋もれていたものの良さを認識することができました。皆さんにも伝わったようで、今回の取り組みは、公民館活動の『自分たちのまちは自分たちの手で良い町、住みよい町にしていく』主旨につながる第一歩ではなかったかと思います」と感想を述べられました。

